

Title	三田商学研究第58巻自第1号至第6号総目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2016
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.58, No.6 (2016. 2) ,p.93- 94
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20160200-0093

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田商学研究 第58巻 自第1号 至第6号 総目次

論 文

	号	頁
「会計史」の成立……………	友岡 賛	1・1
雇用・賃金統計に見る先進各国共通な流れと日本の特異性……………	樋口 美雄 佐藤 一磨	1・15
減損会計再論(3)……………	笠井 昭次	1・37
企業研究とその方法(最終講義)……………	渡部 直樹	2・1
わが国における経営学研究の1つの特徴……………	大平 浩二	2・9
企業経営における統合報告と統合報告書……………	岡本 大輔	2・21
自律的な学としてのナレッジマネジメントの可能性……………	榊原 研互	2・33
A. W. Shawの現代性とマーケティング論の根本問題……………	堀越 比呂志	2・45
中小企業によるニッチ戦略に関するノート……………	高橋 美樹	2・55
シェアードサービス会社の売却の意思決定について……………	園田 智昭	2・67
ダイナミック・ケイパビリティと垂直的統合——取引コスト, ケイパビリティ,そしてダイナミック・ケイパビリティ——……………	菊澤 研宗	2・75
アジアにおける企業文化の比較研究に向けて ——対欧米とは異なった分類軸の必要性——……………	佐藤 和	2・87
持続可能性・認知的ケイパビリティ・福島原発危機……………	谷口 和弘	2・99
組織の盛衰と環境適応障害要因に関する考察……………	三橋 平	2・111
オープンソースソフトウェアと企業の関わり……………	神戸 和雄	2・121
義務論の現代的再解釈——カント倫理学とアプリオリズムの可能性——……………	梅津 光弘	2・129
日系多国籍企業のグローバル R&D ——在ヨーロッパ多国籍企業子会社の R&D 拠点の役割を中心に——……………	井口 知栄	2・141
デュアル・チャンネルの選択に関する予備的検討……………	高田 英亮	2・155
企業の競争戦略と垂直境界——取引コスト理論分析——……………	橋本 倫明	2・169
マニラ・ガレオン貿易における中国人の登場とその役割 ——フィリピンにおける中国系メスティーソの生成を中心に——……………	李 恵薫	2・179
日本の観光産業の戦略的提携に関する研究 ——旅行業の事例研究を中心として——……………	呉 美淑	2・199
ミャンマーにおける高等教育改革と大学への組織上のインプリケーション……………	ティン・ウイン	2・213
私たちは日本から何を学べるか……………	ニマル・ジャヤンタ・ナバラトネ	2・219
新制度派組織論の意義と課題……………	涌田 幸宏	2・227
経済学的倫理学の方法論的基礎づけの試み ——「状況分析の方法」「合理性原理」の経済倫理・企業倫理における…… 可能性と限界——……………	柴田 明	2・239
多国籍企業における持続的競争優位の構築 ——ダイナミック・ケイパビリティ論からのアプローチ——……………	楊 錦華	2・255
進化論的組織論の可能性 ——進化経済学における組織進化に関する議論の検討——……………	西谷 勢至子	2・275
「経営哲学」研究についての方法論的考察——批判的合理主義の観点から——……………	永野 寛子	2・289

経営学における21世紀型教育の課題	糟谷 崇	2・301
ティースの学説におけるルーティン概念の変遷	赤尾 充哉	2・309
産業進化による企業境界の変化と経営者の役割 ——消えゆく手仮説の批判的検討——	蜂巢 旭	2・319
6次産業化に対するケイパビリティ論的考察	大芝 周子	2・335
減損会計再論(4)	笠井 昭次	3・1
会計通史の展開	友岡 賛	3・19
非正規雇用の増加と所得格差：個人と世帯の視点から ——国際比較に見る日本の特徴——	石井 加代子 樋口 美雄	3・37
「会計士史」の展開——会計学の基本問題(6)——	友岡 賛	4・1
異質的期待が資産価格に与える影響	富田 信太郎 和田 賢治	4・19
産業界内の株価予測可能性の実証研究	久保田 敬一 徳永 俊史	4・39
家父長型リーダーシップと成果に関する実証分析	佐藤 和妹 横田 絵理 米山 茂美	4・51
単式簿記と複式簿記・再論——会計学の基本問題(7)——	友岡 賛	5・1
体制転換と金融システムの構造変化(I)——チェコスロバキアの場合——	赤川 元章	5・15
雇用制度の産業間比較——雇用制度の違いは存在するか?——	八代 充史	5・35
「利益」の意義——会計学の基本問題(8)——	友岡 賛	6・1
処理規約の規定要因(1) ——利益観・企業の経済活動の態様・計算方式を巡って——	笠井 昭次	6・17
女性の結婚・出産・就業の制約要因と諸対策の効果検証 ——家計パネル調査によるワーク・ライフ・バランス分析——	樋口 美雄 坂本 和靖 萩原 里紗	6・29
保険会計をめぐる議論の変遷 ——「資産負債アプローチからハイブリッドアプローチへ」に 代わる考え方による検討——	川崎 美有	6・59

資料

研究開発に関する調査2014——8年間の変化傾向と単純集計の結果——	郷濱 岡 香野子 豊	1・57
セネガルにおけるモバイルコミュニケーション ——先行研究のサーベイとセネガル概観——	赤松 直樹 邱 騰箴 韓 貞烈 劉 蜀ミン 蒲 英 末野 正訓 竹内 亮介 濱岡 豊	1・83
製品開発に関する調査2014——8年間の変化傾向と単純集計の結果——	郷濱 岡 香野子 豊	3・57
小売商業に対する行政支援の実態に関するアンケート調査(都市編)の結果	高橋 郁夫	5・47

その他

渡部直樹教授退任記念号の刊行にあたって	金子 隆	2・巻頭
渡部直樹教授略歴および主要研究業績		2・345